

No. 366

農業の話をしよう !! · · · · JA月形町広報紙

まんまるはーと月形町



旬の新鮮情報

2007年11月号



クリーンな農業へ～農業容器回収

11月のこよみ

(小) 霜月 (しもつき)

寒さが厳しくなり、霜を見かけることが多くなる月です

- 1日【米穀年度始め】
- 3日【文化の日】
- 8日【立冬】
次第に冷気が深くなり、こよみの上で冬に入る日
- 9日【全国火災予防運動】
- 19日【農協法公布記念日】 制定60年目
- 23日【勤労感謝の日】
勤労を喜び、生産を祝いお互いに感謝する日
【小雪】
寒気が増し、雨が凍って雪となる頃

今月の行事予定

- 5日
・第4回 監事会
- 6日～7日
・役員視察研修
- 22日
・第10回 理事会



大豆刈取、まめ工房操業始まる

今年の大豆刈り取り作業が、十月五日頃より各所で始まりました。

本年の大豆の作付面積は、二二〇haであり、昨年とほぼ同面積の作付状況となっています。

「まめ工房」の操業も十五日より開始され、粒選別機、色選別機をラインとして流し、上位等級製品を目指して作業を行っております。

農薬容器回収行う



十月二十五日・二十六日の二日間、JA資材店舗前において、今年二回目となる農薬容器の回収を行いました。

当日は、計量等の作業をJA青年部が行い、農業者へ「農業用廃プラスチックの適正処理」の啓発活動を行いました。

今後も容器の回収は、年二回行う予定となっており、JA共済で取扱っていない保険商品を提供しています。

JA共済連北海道グループ
共栄火災海上保険専属代理店
株式会社 コープ・アイ

〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目共済ビル6階
☎011-232-6610 FAX011-210-8305

JA共済で取扱っていない保険商品を提供しています。

・農協法の改正により、JA本体で損害保険代理店業務が可能となりました。
*ただし、平成19年12月までは、取扱商品が限定されています。
—いつでもお気軽にお問い合わせください。社員一同お待ちしております—

J A女性部のお店 「かざぐるま」

本年の営業を終了しました。
また、来年も
よろしくお願いします。

J A月形町女性部



農協法公布記念日にあたって

北海道農業協同組合中央会

会長 宮田 勇

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され60年目を迎えました。

制定当時は戦争の傷跡が生々しく、日本全土が荒廃する中で、国民の食料は不足し、食料確保の必要性と併せて農民の自主的立場を確立するために農村の民主化が最重要課題がありました。このような時代背景の中から農協法が誕生し、全国各地で農協が設立され、現在に至っています。

農協は農地改革によって生まれた自作農を基本とした「農民の農民による農民のための」組織として、人々が連帯し助け合うことを意味する「相互扶助」の精神のもとに組合員の農業経営と生活を守り、より良い地域社会を築くことを目的とした協同組織です。

農協法が制定されて以来、経済情勢や社会環境の変化に合わせて農協の事業展開や組織運営手法の変革が求められ、時代に即した法改正によって、組合員の社会的、経済的地位の向上に大きな役割を果たして参りました。今、私たちは21世紀の初頭を歩んでいますが、世界に目を向けると飢餓・貧困、食料問題、地球温暖化・環境問題が深刻化し、いまだに解決の糸口を見いだせない状況にあります。国内的には市場原理の名の下に行き過ぎた競争社会のひずみが格差社会を生み、年金問題などと相まって、国民の中に不安が増大しています。

このような時代に自主・自立・相互扶助精神に基づき共生の社会をめざす協同組織に対する期待はますます大きくなっています。昨年、私たちは「第25回JA北海道大会」を開催し、「共に創る 北海道農業と新時代」をテーマに、組合員とともに多くの国民の信頼と支持を得て新たな時代に積極果敢に挑戦するJAを目指すことを決議し、実践しております。

北海道農業・JAをめぐる状況は、今後ともWTO農業交渉など厳しい情勢が予測されますが、組合員、役職員皆様が農協法の目的と意義を再確認して、JAが地域農業・農村振興の司令塔としての役割を發揮し、充実した組織として益々発展するよう共に頑張りましょう。



フォトニュース

○JA青年部南部ブロックスポーツ大会

10月14日(日)南幌町スポーツセンターにおいて、JA青年部南部ブロック(7JA、空知農協青年部連合会で構成)親睦スポーツ大会(バレーボール競技)が開催され、JA月形町青年部も参加しました。

当JA青年部は、昨年までの2チーム編成から、ベストメンバーに絞った1チームの参加により、見事予選突破を成し遂げましたが、決勝トーナメントでは、結果を残す事はできませんでした。



○花き種苗品種説明会

10月25日(木)、JA大会議室において、各種苗会社より品種説明、クリザール社より前処理についての説明が行われました。

講習会終了後には、種苗会社との懇親会も催され、参加された生産者のみなさんは、有意義な時間を過ごされておりました。



○職員健康管理研修行う

10月29日、31日の2日間、月形町多目的研修センター大ホールにおいて、職員の健康意識の向上と健康管理について、研修会を行いました。

参加した職員は、タオル片手に一生懸命に体を動かし、運動不足を解消しておりました。

北のめぐみ 愛食フェア

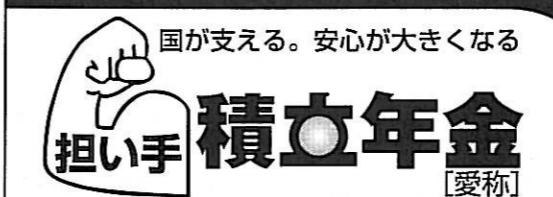


「北のめぐみ愛食フェア」には、複数の出展がありましたが、北海道バイオマスネットワーク会議より推薦され、出店する運びとなりました。

「北のめぐみ愛食フェア」には、複数の出展がありましたが、北海道バイオマスネットワーク会議より推薦され、出店したのは、当JAの他二企業の出店でありました。

会場は、道庁赤レンガ前庭と言う事もあり、道庁職員を始め、観光客が多数来場し、二日目は、高橋はるみ知事も会場をお買い求めいたしました。

「月形の花」を訪れ、「月形の花」を購入いただきました。



よくわかる農業者年金 No.1

老後生活への備えには何が大切ですか？

家族一人ひとりの年金を！

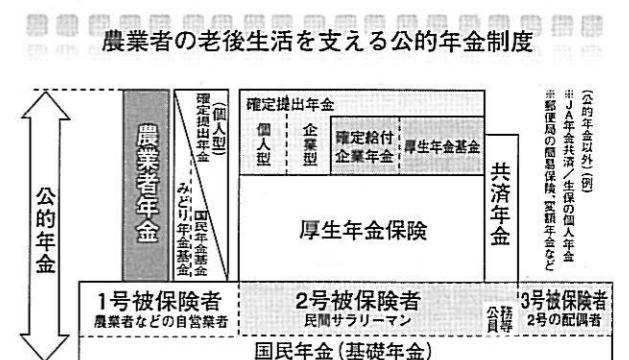
65歳の農業者の方の平均余命は、男子で22年(87歳)、女性で27年(92歳)となっています。老後生活に必要なものは、一に健康、二にお金、三に友達あるいは生き甲斐とも言われています。その中でも長期にわたる老後生活に備えては生活の糧となる収入を確保しておかなければなりません。

農業者の方で65歳以上の夫婦二人暮らしでは月額23万円(現金支出で年額272万円)の家計費がかかっています。老後生活への備えはそれですが、年金は、仮に病気になって働けなくなってしまって生涯を通じて決まった金額が決まった時期に受け取れます。老後生活に備えては、家族一人ひとりの年金を充実することが堅実な選択肢と言えるのではないでしょうか。

農業者年金には、①国民年金の第1号被保険者で、②年間60年以上農業に従事する、③60歳未満の方—ならどなたでも加入できます。

独立行政法人 農業者年金基金

〒105-8010 東京都港区西新橋1-6-21 NBF虎ノ門ビル5F
電話：03(3502)3942 FAX：03(3592)2660 <http://www.nounen.go.jp>



一人ひとりの農業者を応援する農業者年金に加入しましょう！

十月十八日、十九日二日間、北海道赤レンガ前庭において開催された「北のめぐみ愛食フェア」に「切花」「観賞用かぼちゃ」「北のこころ」を出店しました。

今回の出店は、北海道における食の「安全・安心」「地産地消」に寄与し、環境に配慮した「循環型社会」を形成していくための取組事例として、北道バイオマスネットワーク会議より推薦され、出店する運びとなりました。

「北のめぐみ愛食フェア」には、複数の出展がありましたが、北海道バイオマスネットワーク会議より推薦され、出店したのは、当JAの他二企業の出店でありました。

会場は、道庁赤レンガ前庭と言う事もあり、道庁職員を始め、観光客が多数来場し、二日目は、高橋はるみ知事も会場をお買い求めいたしました。

「月形の花」を訪れ、「月形の花」を購入いたしました。

「北のめぐみ愛食フェア」には、複数の出展がありましたが、北海道バイオマスネットワーク会議より推薦され、出店したのは、当JAの他二企業の出店でありました。

会場は、道庁赤レンガ前庭と言う事もあり、道庁職員を始め、観光客が多数来場し、二日目は、高橋はるみ知事も会場をお買い求めいたしました。

WTO・EPAつばの壺

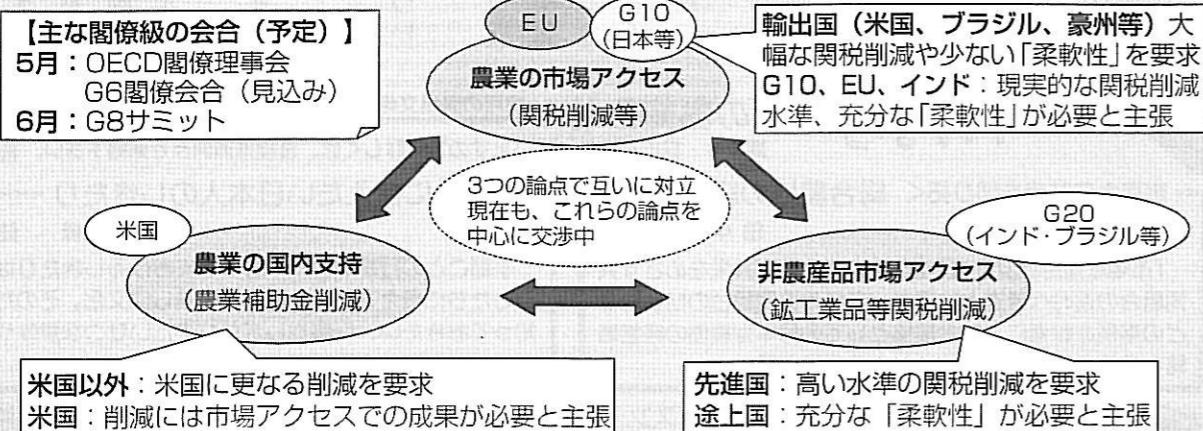
● 再起動したWTO交渉 ● ~加速する国際貿易交渉~

2006年7月、WTO交渉は主要国間での立場の違いを埋めることができず、交渉全体が凍結されました。その後、本年1月にスイスで開催された非公式閣僚会合をきっかけとして、WTO交渉が再開されました。今回は、現在のWTO交渉の状況について説明いたします。

本年1月、スイス・ダボスで開催された非公式閣僚会合をきっかけに、WTO交渉が再開されることになりました。現在は、昨年7月に交渉中断の主因となった、農業の市場アクセス、農業補助金、非農産品市場アクセスの三分野をめぐる「三つ巴」の構図の打開に向けて、主要国同士や少數国での議論が活発に進められています。

わが国農業にとって、上限関税や重要品目の数・取り扱い、農産品の関税削減など農業の市場アクセス分野がどうなるのかが重大な関心事項です。一方、EUが徐々にG20や米国よりの立場へ歩み寄りを示唆しているなか、集中的に設定されている閣僚級会合などを通じてWTO交渉が一気に加速していく可能性もあることから、わが国農業にとって不利な約束がなされることのないよう、今後のWTO交渉の動向を注視していく必要があります。

WTO交渉の主要な論点と構図



WTO農業交渉の市場アクセスにおける各国の立場

	G10 (日本等)	EU	G20 (インド・ブラジル等)	米国
上限関税	受入不可	100%	100% (重要品目含む)	75% (重要品目含む)
重要品目の数	10%～15%	8% → 4～5% (歩み寄りを示唆)	有税品目の1%	有税品目の1%
重要品目の 関税割当拡大幅	より小さい 拡大を志向	輸入量が拡大のペース	消費量が拡大のペース	より大きい 拡大を志向

WTO・EPAつばの壺

● 開始されるオーストラリア（豪州）とEPA（経済連携協定）交渉 ● ～食料安全保障の観点から～

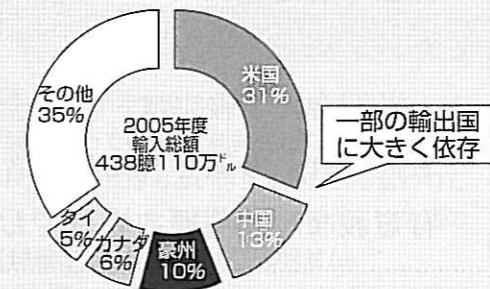
2006年12月、日豪両首脳の間で日豪EPA（経済連携協定）交渉入りが合意されました。今回は、食料安全保障の観点から日豪EPA交渉を見てみたいと思います。

日豪EPA交渉入りの合意に先だって取りまとめられた政府間共同研究の報告書では、「日豪EPAは日本の食料安全保障の目的の実現に資する」と記載されています。一方、日本は食料自給率40%と低迷するなか、オーストラリアを含めた対日食料輸出国上位3カ国で食料輸入全体の50%以上を占めるなど、国民の食料を少数の輸出国に大きく依存しているという実態にあります。

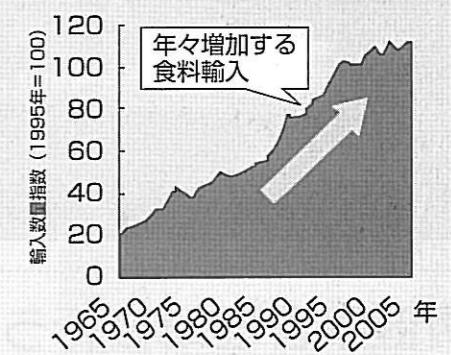
近年、穀物需給が逼迫してきている状況のなかで、もし食料輸出国に大きな自然災害や、農畜産物の伝染性の病害、食品安全の問題などが発生し、突然輸入が停止するといった事態が起きた場合、国内の食料供給に大きな問題が発生しかねません。

国民に対する食料の安定供給をはかっていくうえでは、これ以上食料供給の依存度を高めるのではなく、一定の食料についてきちんと自国内で生産していくことが大切であり、そのためには、わが国の農業の重要品目について、きちんとした国境措置が確保されることが重要です。

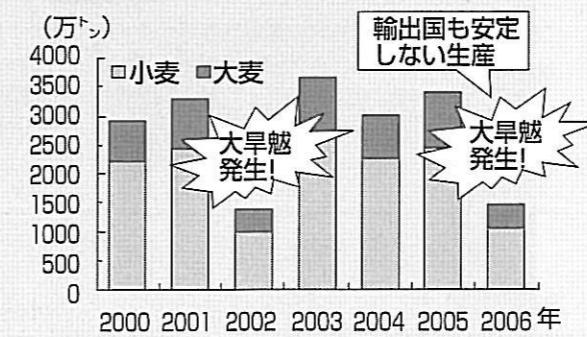
対日主要農産物輸出国（2005年）



増加し続けているわが国の食料輸入



オーストラリアの穀物生産量の推移



一方、オーストラリアをはじめとした食料輸出大国との間で、関税撤廃を原則とするEPAで、コメ、麦、牛、肉、乳製品、砂糖などをはじめとした日本農業の重要品目の関税が撤廃されると、輸入が急増し、日本農業は壊滅的な打撃をうけます。そして、ますます特定の輸出国への食料依存が高まる恐れがあります。

理事会だより

第九回理事会議案

(十月二十四日開催)

- こんにちは農民連-10月-
- 13日・盟友 櫻庭 誠二さん家族
葬儀参列 委員長
 - 15日・小平 忠正さんを激励する会 委員長・副委員長
書記長・河原・金澤楠
 - 23日・第6回拡大執行委員会
委員長・書記長
書記次長
 - 25日・盟友 木村和宏さん家族葬
儀参列 河原委員
 - 31日・書記長・次長研修旅行
(韓国) 書記長・書記次長

- 議案第一号 平成十九年度
第二回(七月末)定期監査の事務処理(エーコープ)
分)について
議案第二号 J A月形町役員研修旅行の実施について

- 議案第三号 組合員のクミ
カン取引に係る理事の連
帶保証人の承認について
議案第四号 内部監査規程等の制定及び内部審査規
程等の廃止について
- 報告第一号 平成十九年九
月末現在組合員の動向について
報告第二号 平成十九年九
月末現在財務状況について
報告第三号 平成十九年九
月末現在事業計画・実績
対比について

- 議案第七号 十九年産普通
大豆概算払いについて
議案第五号 セクハラ関連
規定類の一部改正について

- 議案第六号 品目横断的経
営安定対策に係る経営安
定仮渡金要領(案)について
議案第五号 セクハラ関連
規定類の一部改正について

- 報告第四号 内部審査結果
について
報告第五号 職制規定業務
機構図(別表一)、業務分
掌表(別表二)、職務権限
表(別表三)の一部改正に
ついて

- 報告第六号 職員の人事異
動について
報告第七号 南中空知三J
A合併検討委員会につ
いて

- 報告第八号 J A共済コン
プライアンス点検結果報
告について

- 報告第九号 平成十九年産
農畜産物の集荷状況につ
いて

- ホクレン**
♪スタンド情報♪
- | | | |
|-------|------------|----------|
| ハイオク | 158 | 円/l(税込み) |
| レギュラー | 148 | 円/l(税込み) |
| 軽油 | 128 | 円/l(税込み) |
| 灯油 | 87 | 円/l(税込み) |
- (11月2日現在)

農協文庫 11月号 新刊のお知らせ

販取り・貸出しを行っていますので、詳しくは、営農推進課まで連絡下さい。

今月の農協文庫の新刊をお知らせします。



…市場主義時代を切り拓く 総合農協の経営戦略…

田中久義著

「市場原理主義」が台頭するなかで、共存共栄をめざす共同組合の進むべき道とは何か。海外の協同組合のM&Aなどの事例を参考に、総合農協としての日本型農協の経営戦略を探る。総合農協批判に対する反論の書。

…子どもに伝えたい日本人のしきたり…

三橋健著

季節ごとの行事や日々の暮らしにおけるしきたりは、子どもたちに伝えていきたい日本の美しい文化。そのために知っておきたい、行事やしきたりのたいせつな意味や由来などをイラストや写真でわかりやすく解説します。

…好評既刊… 和のおやつはじめての和菓子レッスン…

金塚靖子&和菓子スタジオへつま著

身近な材料や道具で作れる初心者にぴったりの1冊。小麦粉・白玉粉・寒天などの素材別に基本の和菓子を紹介。電子レンジや市販のゆであずきなどを使い、基本の和菓子にひと工夫したアレンジレシピ

…好評既刊… アトピーにも安心 子どものお弁当…

陣田靖子著

卵を入れないオムライス、牛乳なしのグラタン、小麦粉を使わない焼くパンなど、アトピーが気になるお子さんのための身体にやさしいレシピ。ちょっとした工夫で、子どもが喜ぶおいしく楽しいお弁当ができます。

…好評既刊… 和のおかず決定版…

「ばあば」こと鈴木登紀子さんが教える人気の定番料理から、手軽にできるスピードおかずまで、きちんと身につけたい和食レシピ377品。一汁二菜の今どき2品献立や調理法別の肉・魚・野菜の主菜なども紹介。

…好評既刊… 団塊世代のための安心老後の介護入門…

沖野達也著

団塊世代が安心な老後を迎るために欠かせない、高齢期における問題や知識や具体的な対応法を指南。とくに介護制度やサービスについて準備すべきこと、トラブルや失敗の典型事例を交えながら解説します。